三和新報

日刊（除日曜・祝祭日）第131号 平市六丁目三和新報社 発行電472
支社・支局―東京支局・湯本支社・内郷支社・小名浜支社
10月6日 （1カ月50円）
（昭和29年6月17日三種郵便物認可）

人の往来

◇巻山裕夫氏（平労基署第二課長）衛生週間状況査察のため六日錦町に出張
◇名和寅寿太郎氏（平労基署監督官）衛生週間状況査察のため六日磐城市に出張
◇二瓶洋一氏（平労基署監督官）衛生週間状況査察のため六日内郷市に出張
◇五十嵐勝猪氏（平保健所技手）食品検査のため六日常磐市に出張
◇草野百合子氏（平保健所保健婦）結核家庭訪問のため六日大浦村に出張
◇武石不二夫氏（平保健所長）精神障害者調査のため六日磐城市に出張
◇加藤金吾氏（平職安所長）所長会議出席のため五日若松市に出張七日帰庁
◇松永正男氏（労働省労災課長）労災病院視察のため十五日来平
◇渡辺八郎氏（県警察本部警務課次席）ピストル暴発事故調査のため六日来平

きものと帯の御用命は
かみや
平市二丁目電256

十六娘がピストル暴発
平署鈴木信義巡査に命中死亡
昨夜平市七丁目で

（号外既報）

五日午後七時五十五分ころ平市ネギ町一二下宿業ふくべこと斎藤ハツエさん（46）方で同家に止宿している平署の監房看守係鈴木義信巡査（28）が部屋つづきの土間の椅子に腰をかけていると折柄顔を出した隣家の某美容院の見習某女（16）が同巡査の押入れの布団の上においたピストルをもてあそび「あぶない！」と注意した瞬間、ピストルが暴発、同巡査の左腹部に命中昏倒した、鈴木巡査は八月若松署から轉勤したばかりで妻を福島に残し単身赴任同家に止宿していたもの、加害者某女は過失致死の疑いで取調べをうけている

危い！と注意の瞬間
ズドンと一発、バッタリ倒る

ロールカーでかけつけハイヤーで鈴木巡査を市内十五丁目竹林病院になつぎ込み同りようたちが五百ccの輸血をしたが出血多量で遂に死亡したもの、某女は平署の調べに対し「フトンの上にあつたピストルが珍らしかつたのでいじりまわしているうち鈴木さんに危いと注意されハツと思つたときにはピストルが華サツクから抜けズドンとタマがとび出していた、ほんの一瞬の出来ごとでいつの間に引金を引いてしまつたのか夢中でした」と語り同夜は帰宅を許された

小鳥好きの鈴木巡査
不吉！その朝、突然カナリヤの死

死んだ鈴木巡査は剣道三段の猛者に似合わぬ大の小鳥愛好家で下宿の鳥カゴにカナリヤを飼育し勤務中は隣りの美容院にエサの補給を頼んでいたが五日ヒルごろ突然カナリヤが死んでしまい外出から帰つた鈴木巡査は「かわいそうに」と飼いなれたカナリヤの死をいたんでいたといわれカナリヤが死んでからわずか十時間後カナリヤのあとを追うように鈴木さんが死んで逝つたのも何かの因縁でしようと近所のおかみさんたちは人の運命のはかなさをなげいている

鈴木巡査略歴 相馬郡鹿島町上真野字山下出身、昭和二十年一月本県巡査拝命、同年三月福島警勤務、同二十二年四月飯坂署同年十月福島署、同二十三年三月同市署、同二十六年七月若松市署同二十九年七月国警自治警の合併で若松署、同年八月平署に転勤

遺骸は故郷へ

鈴木巡査の遺骸は竹林病院から下宿の〝ふくべ〟斎藤ハツエさん方に運ばれ同僚たちが交代で悲しいお通夜をすませ六日早朝署員一同が手向けた花輪一対が枕辺をかざつた、遺骸は同僚たちの手で納棺され僧侶の供養ののち出身地の相馬からかけつけた親戚、知人に見守られ平署のコマンドカーで故郷に運ばれた

安全装置のない拳銃

暴発したピストルは安全装置がなく引金を引けばタマがとび出す仕掛けになつており撃鉄が起きないように安全ベルトがついているがいじりまわしているうちに安全ベルトのボタンがはずれたものらしくこういう暴発事故は少くない、なおピストルを自宅にもち帰つた場合には署から貸与されている保管箱に入れてカギをかけておくことになつている

事故防止懇談会

平労基署では二十二日午前十時から災害防止特別指定事業所の月例協議会をひらき事故防止についてこんだんする

甘辛けさ

▽警官がピストルの暴発事故のため不慮の死をとげた、誠に痛ましくもあたら若い命を惜しいことをしたものである▽だがピストルには厳重なる取締規定がありいついかなる場合でも他人の手に渡す時には弾倉を開き、弾の有無を充分たしかめた上渡すことになつている▽更にこの拳銃には安全装置がなく一般人の取扱いは誠に危険なものである▽しかし今更死人にムチ打とうとは思わぬ▽一方過ちを犯した娘さんも気の毒なものだ、地に伏し天を仰いで後悔していることだろう▽当局としても今後更に教育を厳重にしこうした事故がなくなるよう努めて欲しい

倒れた巡査の左手に
固く握つた社本投票用紙
涙も新らたな美容院

その日、非番の鈴木さんは夕飯を食べてから土間の食堂の椅子に腰をかけ本社主催の人気投票の某美容院の投票用紙を書いていたがバッタリ倒れたとき、鈴木さんの左手にはしッかと投票用紙が握られていたことが、目撃者や平署員によつて明らかにされ某美容院の悲しみの涙を新らたにして近所の人達の話題になつている

死体にすがり泣伏す妻

射たれた鈴木巡査はこの日非番で市内に外出して夕方帰つて土間で夕食を終え風呂に入つて紺ズボンにワイシャツ姿で土間に腰かけフスマ一つをへだてた隣の美容院から顔を出した某女に「疲れた、もう寝るからフトンを敷いてくれ」と頼んだところ某女が土間つづきの四畳半にある押入れのフトンの上にあげておいた六連発コルト式ピストルを見つけていじりまわしピストルのついたバンドを腹にあててしめようとするので鈴木巡査が「危い、よせ」と注意した瞬間某女が無意識のうちに左手を固く握りしめたらしくその左指が引金にふれたものとみられ、ごうぜん暴発、二米ほどはなれた鈴木巡査に命中したもので美容院ではすぐに平署に急報愛川警部補らがバト市に別居しているが平署からの連絡で六日午前二時ごろハイヤーでかけつけ変りはてた夫の死体にとりすがつてワツと泣き伏し署員たちの涙をさそつた

渡辺警視来平

暴発事故調査のため県警本部警務課次席渡辺八郎警視は六日午後来平、佐藤平署長から実情を聴取した

三阪 トラック転落一名即死

五日午後八時二十分ごろ三阪村下三阪字南山地内の村道で松丸太十四石を積んで平市へ進行中の平市三丁目せり沢材木店所有のトラック運転手小森喜三郎氏（一）が道路の地響がゆるんでいたため材木の重みで二米下の田圃にすべり落ちて転覆、乗車していた上小川村上小川菊地喜八さん（三）は下敷となり即死した

小石で抵抗

山田村のドブ急襲に

平税務署と磐田署は六日午前八時半ごろ山田村小山田の朝鮮人ドブロク密造部落十三軒を急襲無職言尚雨三（三）ほか七軒からアルコール四斗、焼チユウ八斗三升を押収したが引揚げる際言尚雨は摘発隊にコブシ大の石を投げて抵抗したが摘発隊にケガはなかつた

産業文化祭本極り
十一月廿一日から三日間

恒例の石城産業文化祭行事についての打合せ会は五日午後一時から平市会議室で関係者多数が集り協議、まず会長副会長の選出を行い会長に平市長諸橋久太郎氏副会長に常磐、磐城、内郷の三市長、石城町村長会長、平商工会議所会頭石城農協組合長会長の六氏と事務局長として石城地方事務所芳賀次長を選び予算総額七十一万円を原案通り決定、十一月廿一日から二十三日の三日間にわたり盛大に開催することになつた、なおこの日に出品規定、文化祭規約承認だけにとどまり細部のことは近く市水産商工委員会を開き正式に具体案を練ることになつている

丹野水産商工課長談―今年は町村合併の記念行事としてなにかそれに類した盛沢山なものを出品しようと思つている

あす四市に繰出す
貝谷バレー団のキャラバン隊

平専門店会では七日貝谷八百子バレー団公演の宣伝キャラバン隊を平―内郷―常磐―磐城の四市にくり出す、キャラバンは専門店会の制服を着た会員を宣伝かざりつけしたトヨペツト三台、コンサル、オースチン各一台、スクーター、単車など十台、自転車四十台に分乗させて午前十時専門店会事務所前を出発、マイクをフルに使つて宣伝するもの

総務部長列車を止める

五日午後〇時五十三分ごろ常磐線下り急行二〇一列車が植田駅構内を通過中、機関車の前方を横切ろうとする男を機関手が発見、急停車した、このため同列車は約五分間遅れて植田駅を発車した。横切つた男は勿来町三和炭鉱総務部長木原運児氏で危く轢死を免かれた

スポーツ用品と服装
マエダ運動具店
常磐炭礦指定
常磐市湯本横町
電（常磐）四五二

美術印刷
三章堂
目6丁 電472

自慢 江戸前寿司
秋の味覚を充分タンノウ
江戸川寿司店
才槌小路 電一〇二二

秋のトップモード
セーター
いつも良い品
甲野洋品店
平二三電五三

性病 皮膚病科
平市古鍛冶町（県社下）
矢吹医院
電話一、一九三番

平名物
梅ぼし
◇地方發送承ります◇
ぐんがら本舗
田町店 電六九一
銀座店

洋裁・美容・花道 人気投票

各部とも張り切る

平高等、ハリウッド再度首位に

◇二位におちたハリウッドは又も首位に立ち久保田は一躍五百票を投じ八百十三と第◇
◇三位にくいこんできて美容の部の激戦は全く混沌たる有様であるが平高等もまた無◇
◇岡の進出を防ぎ首位に返り咲いた、洋裁の部ではアミモノで著名なニュースタイル◇
◇も堅実に歩をのし上位に飛びこんできたが、花道の部では九百八十二票と六百票を◇
◇加えた千葉が第三位に急伸し一位、二位、三位との差が僅少となり各部とも奮戦め◇
◇ざましく激戦の度を加えいずれが雌雄が今のところ情勢の判断は許せぬ状態にある◇

洋裁

一二五八	平高等裁裁（平）	四〇二
八三二	鯨岡洋裁（平）	三五六
七六三	十字洋裁（平）	二一五
五六五	小山洋裁（内郷）	二一四
四一五	ニュースタイル（平）	一六八
一〇五	東北高等洋裁（平）	三浦洋裁（平）
八九	林高等洋裁（平）	千草洋裁（平）
六八	磐城高等（平）	小松洋裁（内郷）
二三	小川高等洋裁（小川）	サエ洋裁（平）
		橘洋裁（常磐）

美容

一〇八二	ハリウッド（平）	五八九
一〇七八	長谷川美容院（平）	五八〇
八一三	久保田美容院（平）	五七八
七一五	安田美容院（平）	四〇九
六九七	坂本美容院（内郷）	四〇一
		三一七
		二〇八
		二三〇
		二一一
一七三	直龍軒（平）	オリエント（平）
一七二	草野美容院（常磐）	オリオン（平）
一六二	須藤美容院（平）	大庭美容院（平）
一三〇	ちぐさ美容院（常磐）	トミー美容院（好間）
一二〇	東美容院（平）	水野化粧室（平）
四二	菅原美容院（好間）	木原美容院（平）
二七	ミツコ美容院（平）	メイ美容院（平）
七	みどり美容院（赤井）	吉田美容院（平）
		サン美容院（常磐）

花道

一〇五一	岡田華悦（平）	四八〇
一〇四九	横山夢草（平）	四一二
九八二	千葉君光（平）	三四五
六一三	鈴木イセ（平）	三一七
五七八	先崎翠峰（平）	二八〇
		二三〇
		二〇九
		一九五
		一九
古川チヨ（平）		
翌見米吉（平）		
鈴木テル（好間）		
菅井勇（平）		
藤吉一泉（常磐）		
馥谷豊江（平）		
高橋（平）		
本田一（常磐）		
鈴木ハツ（平）		

談話室

子供のころお友だちから「赤つ毛ちゃんぐるま」とはやしたてられ校庭の片隅でソツとくやし涙を拭つたことも一度や二度でなく私を生んでくれた亡き母をうらんだことも度々でした、それほどひどい赤つ毛で美容院にゆくのも恥かしい私でしたが、はじめてお世話になつた大庭美容院の親切さがたまらず美容は大庭ときめております親切な大庭さん毎日配達になる夕刊から一票ずつ投票していています、大庭さんの健斗をいのつています（平、鈴木）

権威と伝統の点で平高等洋裁学院は郡内随一です、先生方の洋裁界に対する研究心とその熱意ある教授ぶりは私達生徒の心をひきつけます、このような環境なので私達きたサツマあげを包んだ新聞紙を見て、人気投票を知りました、四年前私が通つていた飯岡洋裁の名も二番目に出ているのを見てホツとしました、さつそくサツマあげの油のしみこんだ投票用紙を切りとつて母校くじら岡洋裁に投票することにしました、私の入れる一票がやがて大きな波紋を描いて同窓生たちが皆んなこぞつて母校を応援することゝ存じます（双葉郡大久村　K子）

古川チヨ先生は僕等の恩師です、たゞひとすじに半生を教育界に捧げた偉大なる先生、僕は先生の絶体的な支持者です、平三小同窓生たちに呼びかけて断然先生を応援します（平三小卒業生）

読書世論調査

常磐市湯本公民館図書部ではこのほど読書会のモデル地区に選んだ常磐労組鹿島支部に対し二十日から抽出読書世論調査を行う

消防幹部会

常磐市湯本消防団では八日幹部会をひらき秋季検閲につき協議する

綴保育所運動会

内郷市綴ほ育所の秋季運動会は十日午前九時半から七反田グランドで行う、バン食い競争スタコラサツサなどプログラムは多彩

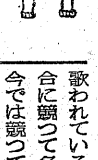
投票規定

一、投票は本紙刷込用紙または官製ハガキのこと、ハガキの場合は一項目とする
一、一枚一票とする
一、投票用紙は本社に郵送のこと
一、締切は十月廿日とする
一、最終決定は十月廿五日附本紙上表彰の方法は追つて発表する

今晩の映画（六一二）

◇聚楽館　山河遥かなり　ジヤバ（順風（五一一日まで）
◇世界館　赤穂義士　ふり袖月夜
幽霊軍隊
◇平　館　江戸の夕映　ハワイ珍道中
◇民　劇　君死に給うことなかれ　まぼろし姿化　井戸
◇ひかり座　波止場　渓谷の騎士
◇第二いわき（六一一〇）　母時鳥　地獄への道　露の小次郎第一部
◇綴映劇　蛍草　悪魔をやつつけろ　月の輪古墳
◇湯本座（六一八）　死の砂塵白覇の仮面　うれし恥し看板娘

街には明るい歌声を



重宝を百本も玉半の店先に置き忘れた男がいるとは全くおどろき入入つた話だ、近ごろの世の中は殺人や強盗や自殺が昔からみるとずつと多くなつているような気がする、私共の若い時分には街はウイリアムテルの序曲やカルメンなどが口笛と共に流れていた、楽しい想い出である、だが最近は「オトミさん」とか「トンコ節」まがいの低俗極まる歌が子供たちにまで歌われている、昔の映画館では幕合に競つて名曲を流したものだが今では競つてつまらない俗謡をガナつている、街に明るい歌声がひゞき人々の胸に楽しい灯がともればいやらしいこともなくなるに違いない、今は孫のある身であるので将来のことが気になつてしようがない、老骨のグチと思わず若い人たちの一考をわずらわしたい（平市　武田）

美しい世の中をつくりたい

〝赤い羽根募金〟が始まつた、また募金かと思うがそれと比例し隣人愛が失われてゆく今日このごろしかし、昨日の御紙の中で息子から見はなされた考爺が近隣の人たちの温情の中で安らかに昇天したという嬉しくも美しい話がのつておりましたが、共同募金はこうした人たちのためにこそあるべきです、霊友会小谷会長のようにこうした微細な浄金を私事に使つてしまう人たちがあるのはなんと悲しいことだろう、十円、廿円と集められてゆくこの浄財は貧しい方々をなくすためのものです、世の中が少しでもよくなるために捧げられたものです、隣人愛が美しく咲き競う世の中になる為に集められるものです、早く楽しい世の中をつくり美しく生きてゆきたいと思つております（内郷　佐竹雪子）

人気投票用紙
の部
住所
名称

眼鏡専門
レフラクトメーター完備
玉屋
平市二丁目　電910

ミシンはハッピイ
機の小山で

あっち　こっちと歩いてみたが
やっぱり時計は・・・・
金光堂
平市五丁目電195
ラジオ・レコード・楽器・萬年筆

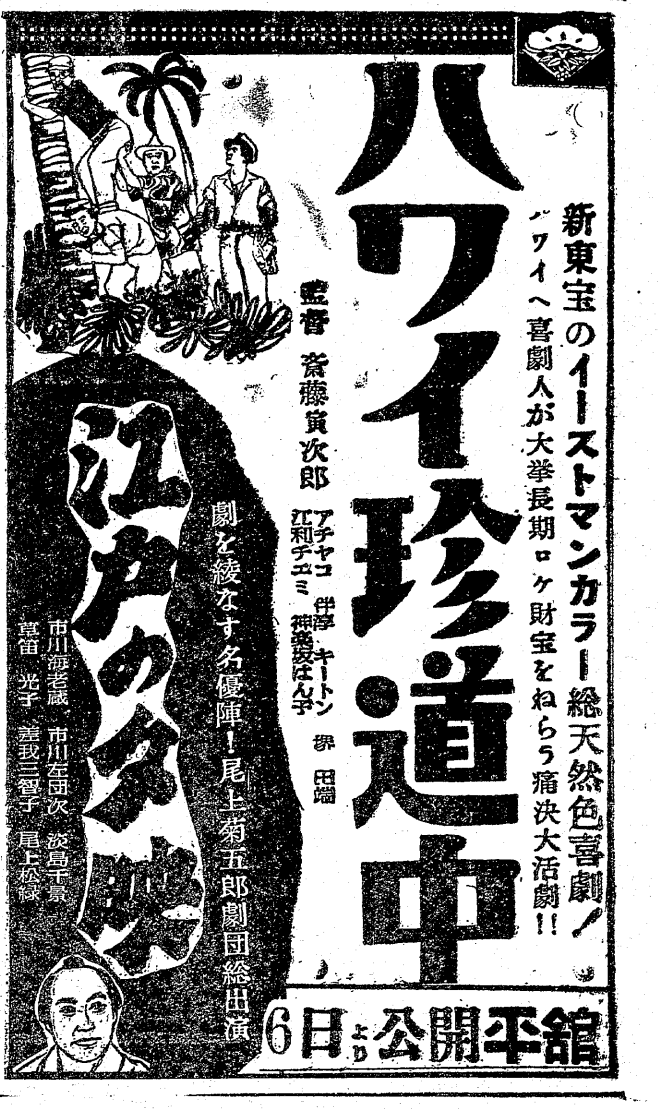
パン
電平市五三四丁目
花は亭

Camera
驚くほど沢山のカメラが揃えております
カメラのデパート
田中
本店・平駅前大通り　1860
サービス部・平三丁目　576
支店・湯本店　308

10月平けいりん
前節　9土 10日 11月
結果は毎日本紙に発表
午前11時発走
賣場　大町・郡山　若松・福島
銘菓　平だんご餅　松月堂

10月15日まで　合計二萬円以上お買上げの方に
土湯行御招待
吉野屋呉服店
平市四丁目　電268番

十月十七日（日）
平市公會堂
第二回平をどり
畫十一時
夜四時
平芸合

整形外科
外科
内科
レントゲン科
理学診療科
入院随時
福島県平市三十米道路
医療法人
竹林病院
院長　竹林貞吉
電話六〇八番　八一一番

平名物　若ひな鳥料理
一人前一羽料理　一五〇円　二七〇円より
なにか美味しいものを食べたいとお考えの方は是非御試食下さい
不二屋
平市中央通り　TEL3336・1750